

東京2020オリンピック聖火リレーの実施について

1 聖火リレーについて

聖火リレーとは、ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげるものです。オリンピックのシンボルである聖火を掲げることにより、平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を体現し、開催国全体にオリンピックを広め、きたるオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役目を持っています。

2 東京2020オリンピック聖火リレーについて

東京2020オリンピック聖火リレーが2021年3月25日に福島県楡葉町・広野町『ナショナルトレーニングセンターJヴィレッジ』をスタートし、全国47都道府県を巡り、7月23日の開会式当日に、最終ランナーによってメインスタジアムの聖火台に点火され、大会が終わるまで灯し続けられます。

長崎県においては、5月7日(金)、8日(土)の2日間実施され、大村市では初日の5月7日に実施されます。

3 聖火リレーの大村市開催について

【1】コースについて

大村小学校を出発し、市道(杭出津2丁目日本小路線)を佐世保側(北側)へ進み、鶴亀橋を渡り、アーケード内を通過、十八親和銀行大村中央支店前の交差点を右折し、バスターミナル前を通過、大村駅前交差点前を折り返し、ミライonにゴールします。(1.84km)



【2】交通規制について

日時：令和3年5月7日(金) 16:30~17:40(予定)

【3】イベントについて(予定)

スタート地点での
アトラクション

大村小学校グラウンドにおいて、小中学生ダンスチーム「ATG-flap」によるチアダンスや多国籍の和太鼓集団「和さ美」による篠笛や和太鼓の演奏を行います。

ゴール地点での
アトラクション

ゴール地点のミライonで行われる、ミニセレブレーションの中で、大村中学校吹奏楽部による演奏で最終ランナーを迎えます。